

7:1 主はモーセに仰せられた。「見よ。わたしはあなたをパロに対して神とし、あなたの兄アロンはあなたの預言者となる。

7:2 あなたはわたしの命じることを、みな、告げなければならない。あなたの兄アロンはパロに、イスラエル人をその国から出て行かせるようにと告げなければならない。

7:3 わたしはパロの心をかたくなにし、わたしのしるしと不思議をエジプトの地で多く行なおう。

7:4 パロがあなたがたの言うことを聞き入れないなら、わたしは、手をエジプトの上に置き、大きなさばきによって、わたしの集団、わたしの民イスラエル人をエジプトの地から連れ出す。

7:5 わたしが手をエジプトの上に伸ばし、イスラエル人を彼らの真中から連れ出すとき、エジプトはわたしが主であることを知ようになる。」

7:6 そこでモーセとアロンはそうした。主が彼らに命じられたとおりにした。

7:7 彼らがパロに語ったとき、モーセは八十歳、アロンは八十三歳であった。

7:8 また主はモーセとアロンに仰せられた。

7:9 「パロがあなたがたに、『おまえたちの不思議を行なえ。』と言うとき、あなたはアロンに、『その杖を取って、パロの前に投げよ。』と言わなければならない。それは蛇になる。」

7:10 モーセとアロンはパロのところに行き、主が命じられたとおりに行なった。アロンが自分の杖をパロとその家臣たちの前に投げたとき、それは蛇になった。

7:11 そこで、パロも知恵のある者と呪術者を呼び寄せた。これらのエジプトの呪法師たちもまた彼らの秘術を使って、同じことをした。

7:12 彼らがめいめい自分の杖を投げると、それが蛇になった。しかしアロンの杖は彼らの杖をのみこんだ。

7:13 それでもパロの心はかたくなになり、彼らの言うことを聞き入れなかった。主が仰せられたとおりでである。

このようにパロ王はかたくなになり、イスラエルを行かせませんでした。そればかりか、もっと過酷な状況にしまったのです。神様に従ったのになぜかと、モーセは悩んだことでしょう。それはひとつには、イスラエルがエジプトから脱出したいという思いを強めるためだったのではないかと思います。また、パロが自分で滅びの道に行き、イスラエルに手出しができなくなるためでもあったでしょう。結果的に、イスラエルは決定的にエジプトから去ったのです。

このように、信じて従ったのになぜ裏目に出るのかと思われるようなことも起こります。それは私たちが神様から愛されていないのではなく、神様の最善をなすためであると知りましょう。

蛇はエジプト人にとっては崇拜の対象でした。その蛇が神のみわざによって飲み込まれたのです。ここに不思議の意味があります。単に不思議だからというので、価値があるのではなく、本当の神を表すところに価値があるのです。神を表しましょう。また不思議に惑わされることなく、神の栄光を尊びましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

